

## 小学校 ICT 活用授業 児童のプレゼンカコンテスト

学校 (団体)	フリガナ サツボロ		フリガナ イナホ ショウガッコウ	
	札幌	都 道 府 県	国 都 道 府 県 (市) 立 区 組 私	稲穂
指導 教員名	姓	名		担当学年、クラス名
	フリガナ ヒグチ	ヨシカズ		1 年 1 組
	樋口	祥和		

単元タイトル	「自然遊び絵本を作ろう！」				
単元のねらい	<p>&lt;学習指導要領&gt;</p> <p>自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域の良さに気づき、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <p>諸感覚を使って、草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察し、夏の動植物の色や形などの特徴に気づくとともに、草花や樹木を使って工夫して遊ぶことができる。</p>				
児童のプレゼンカやコミュニケーション力を育成するために工夫した点	<p>子どもたちは入学し、あらゆる活動に対して意欲に満ち溢れている。学力には個人差があり、「どうしてかという～」などの言葉を使って自分の思いを話したり、書いたりできる子どももいれば、ひらがなの読み書きがほとんどできない児童もいる。しかし、身の回りの自然などに対する興味は強く持っており、「自然とは何か？」をテーマに様々なスキルを高める学習が効果的だと考え、今回の単元計画を製作した。</p> <p>子どもたちが、自力解決と、他者との交流によるコラボレーションを区別できるように、「自分でチャレンジ」と「みんなでチャレンジ」という言葉を用いて、学習を進めていく。前者では、身の回りの自然を限られた時間の中でよく観察し、自分の思いをカードに表現すること、後者では、カードの交流や絵本の製作の中で、他者とかかわりながら、自分と他者との感じ方の違いに気づけるよう学習を進める。</p>				
ICT 活用とその工夫した点	<p>タブレット PC を活用した学習は初めてだったので、機器を使う良さや楽しさをしっかりと活動の前に話をした。実際に機器の操作に慣れることができるように、短い時間ではあるが自由に操作する時間を設けた。また、グループで一つのタブレット PC を用いての活動なので、役割分担などを決めるためのコミュニケーションが重要であることも十分に意識できるように、活動前に声をかけた。</p>				
ICT 環境 (PC, ネットワーク, コンテンツ, 周辺機器)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット PC (グループに一つ)</li> <li>・ソフト「ピッケのつくるプレゼンテーション」</li> <li>・テレビ</li> <li>・実物投影機</li> <li>・教員用 PC</li> </ul>				
教科単元	生活	対象学年	1 年	総時間	9 時間

単元計画（単元の流れと実践の内容を記入してください。）

<p>導入 授業時間 (1)</p>	<p>学習内容</p>																										
<p><u>自然ってなに？校区のどこにあるだろう？</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「遊び」をきっかけに自然について考える。。</li> <li>・校区の中にも自然は至る所にあり、特に自分たちが遊ぶ公園には多くの自然があることを知る。</li> <li>・たくさんの自然を見つけて、楽しんだ先日の公園探検を思い出し、夏の自然の中で遊びたいという思いを持たせる。また、楽しく遊んだ経験を友達に伝えたいという思いを持たせる。</li> </ul> <p>※（単元を貫く言語活動）自然遊び絵本を作ろう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然遊びを見つけに公園探検へ出かけたいという意欲を持つ。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="683 454 1458 1048"> <tr> <td></td> <td> かんぺき！</td> <td> できた</td> <td> まあまあ</td> <td> うーん</td> </tr> <tr> <td>はじめ</td> <td>あそびを みつけない かんがえない</td> <td>あそびを みつけない</td> <td>あそんでみたい な</td> <td>わからない</td> </tr> <tr> <td>たんけん</td> <td>カードに かけたよ あそびを みつけたよ</td> <td>カードに かけたよ</td> <td>カードに すこしかけたよ</td> <td>カードが かけなかったよ</td> </tr> <tr> <td>はなしあい</td> <td>おともだちに つたえたよ きけたよ</td> <td>おともだちに つたえたよ</td> <td>おともだちに すこし つたえたよ</td> <td>おともだちに うまくつたえら れなかったよ</td> </tr> <tr> <td>えほんづくり</td> <td>おともだちと なかよく たのしめるえほ んがつくれたよ</td> <td>おともだちと なかよく えほんがつくれ たよ</td> <td>おともだちと えほんがつくれ たよ</td> <td>つくれなかつた よ</td> </tr> </table>				 かんぺき！	 できた	 まあまあ	 うーん	はじめ	あそびを みつけない かんがえない	あそびを みつけない	あそんでみたい な	わからない	たんけん	カードに かけたよ あそびを みつけたよ	カードに かけたよ	カードに すこしかけたよ	カードが かけなかったよ	はなしあい	おともだちに つたえたよ きけたよ	おともだちに つたえたよ	おともだちに すこし つたえたよ	おともだちに うまくつたえら れなかったよ	えほんづくり	おともだちと なかよく たのしめるえほ んがつくれたよ	おともだちと なかよく えほんがつくれ たよ	おともだちと えほんがつくれ たよ	つくれなかつた よ
	 かんぺき！	 できた	 まあまあ	 うーん																							
はじめ	あそびを みつけない かんがえない	あそびを みつけない	あそんでみたい な	わからない																							
たんけん	カードに かけたよ あそびを みつけたよ	カードに かけたよ	カードに すこしかけたよ	カードが かけなかったよ																							
はなしあい	おともだちに つたえたよ きけたよ	おともだちに つたえたよ	おともだちに すこし つたえたよ	おともだちに うまくつたえら れなかったよ																							
えほんづくり	おともだちと なかよく たのしめるえほ んがつくれたよ	おともだちと なかよく えほんがつくれ たよ	おともだちと えほんがつくれ たよ	つくれなかつた よ																							
<p>使用した ICT 機材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ</li> <li>・実物投影機</li> <li>・教員用 PC</li> </ul>		<p>活用のねらい・工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前遊びに行った公園を思い出すために、撮影しておいた活動の映像を全体へ見せる。</li> <li>・前回の活動で見つけた夏の自然を、実物投影機で全体へ見せることで、夏の遊びについて具体的なイメージを持てるようにする。</li> </ul>																									
<p>展開 授業時間 (2～5)</p>	<p>学習内容</p> <p><u>自然を探しに公園を探検しに行こう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園にある草花、樹木、虫、土や砂、水など、自然物を探す。（自己管理スキルを伸ばすミニレッスン①）</li> <li>・友達に伝えるため、探検カードに絵と文章を使って、自然物を記録する。（メディア創造力を伸ばすミニレッスン②）</li> </ul> <p>※各公園の自然物の違いを比べられるように、2つの公園を探検する。</p> <p>※自然物は『見る』、『家具』、『触る』、『聞く』などの五感を活用して探し、観察する。</p> <p>※校区内のつけることの意欲や喜びを感じることができるよう、事前の声掛けを行うとともに、それらを五感をういてじっくりと観察できるように、安易にカメラなどは活用せず、探検カードは手書きで行う。</p>																										
<p>使用した ICT 機材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ</li> <li>・実物投影機</li> <li>・教員用 PC</li> </ul>		<p>活用のねらい・工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実物投影機を用いて、見つけた自然の情報共有</li> </ul>																									
<p>展開</p>	<p>学習内容</p>																										

<p>授業時間 (6)</p>	<p><u>夏の公園にはどんな自然があったかな？</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に自分の見つけた自然物を効果的に紹介できるように、探検カードを用いて友達に紹介する。<b>(メディアアリティを伸ばすミニレッスン④)</b></li> <li>・公園内の自然を友達に紹介する。<b>(コミュニケーションスキルを伸ばすミニレッスン③)</b></li> </ul> <p>※より交流が深まるように、付箋を用いて、相手の考えた遊びに対して「いいね」と感じたものに貼っていく。</p> <p>※自分たちが体験した、自然物を使った夏の遊びを 子どもたちで交流しあう。</p> <p>※事前に行ったミニレッスンを子どもたちが思い出し、交流に生かせるように、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を指さしながら説明を行うこと</li> <li>・説明に対して質問や感想を述べることを机間指導の中で行っていく。</li> </ul> <div data-bbox="371 584 879 712" style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>・友達に自分の見つけた自然を紹介し、「いいね」と感じたものに、ふせんを張り付ける様子</p> </div> 
<p>使用した ICT 機材</p>	<p>活用のねらい・工夫</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ</li> <li>・実物投影機</li> <li>・教員用 PC</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物投影機を用いて、見つけた自然の情報共有</li> </ul>
<p>まとめ 授業時間 (7～8)</p>	<p style="text-align: center;">学習内容</p> <p><u>自然を使って楽しい遊びは作れないかな？</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで自然を使った遊びを考える。<b>(コミュニケーションスキルを伸ばすミニレッスン⑤)</b></li> <li>★プレゼンテーションソフトを用いて、自分たちの考えた遊びを絵と文章で表す。<b>(メディア創造力を伸ばすミニレッスン⑥)</b></li> <li>・出来上がった資料を絵本にして、子どもたちに紹介する。絵本は教室に保管し、いつでも子どもたちが手に取って読むことができるようにする。</li> </ul> <p>※全員が画面を見ることができるよう声掛けを行い、グループ内のアドバイスのやり取りをすすめる。</p> <p>※事前に行ったミニレッスンを子どもたちが思い出し、役割分担をしっかりと行えるように、活動中も子どもたちに声をかける。</p> <p>※子どもたち同士が自由に相談をしながら、よりよい表現方法を探していく。コミュニケーションがうまくいっていないグループに対しては、どのように交流を行えばよいか声をかける。</p> <div data-bbox="384 1559 850 1686" style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>・友達に自分の見つけた自然を紹介し、「いいね」と感じたものに、ふせんを張り付ける様子</p> </div> 
<p>使用した ICT 機材</p>	<p>活用のねらい・工夫</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット PC</li> <li>・テレビ</li> <li>・教員用 PC</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット PC の活用による「より本物らしい」絵本作り</li> <li>・グループで一つの PC を活用していくことによる、子どもたち同士の話し合いの促進、コミュニケーション・コラボレーションの促進</li> </ul>

ふりかえり	学習内容	
授業時間 ( 9 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来上がった資料を絵本にして、子どもたち同士で紹介する。</li> <li>・絵本は教室に保管し、いつでも子どもたちが手に取って読むことができるようにする。</li> </ul> <p>※効果的な表現方法を用いているグループの工夫について子どもたちに知らせ、さまざまな表現方法があることを知らせる。</p> <p>※全員のシートを「絵本」の形で教室に保管し、子どもたちが、「チームで作上げた」という達成感をもてるようにする。</p>	
	使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット PC</li> <li>・テレビ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた役割で違うグループの友達へ自分の絵本の内容を発表する。自分たちのグループの成果を外へ発信する力の育成、また、聞く力の育成。</li> </ul>

